特殊セメントの分野を大きくリードする
エレホン

NEXCO 断面修復材品質規格適合

日本建築仕上材工業会登録
F☆☆☆☆

準速硬性高強度一材型ポリマーセメントモルタル

一材型 EG タイプ

フィックスTS・EG

（シックスペシャル・一材型イージータイプ）

フィックスTS・EGは、速硬性セメント、高炉スラグ、硅砂、繊維等とアクリルカチオン系特殊粉末樹脂を配合した、完全プレミックスタイプの繊維補強一材型ポリマーセメントモルタルです。作業効率及び高強度を重点に開発しており、一般コンクリート構造物の断面修復はもちろんのこと、高強度コンクリートの補修にも適しています。

特 長

- 作 業 効 率　水と混ぜ合わせるだけの完全プレミックスポリマーセメントモルタルであり混練が容易で、十分な可使時間を持ちながら硬化が早いため、次工程への待ち時間が少なく、効率の良い作業が可能です。
- 接 着 性　接着性に優れた特殊粉末樹脂の適正添加により、液体樹脂と変わらぬ接着力が得られます。
- 施 工 性　ポリマーセメント特有のベタツキをなくしたためコテ塗り施工性に優れています。また、吹付施工も可能にしています。(別途資料参照。詳細は営業担当にお問い合わせ下さい。)
- 適 合 規 格　NEXCO断面修復材(左官工法)の品質規格に適合しています。(プライマー：ERボンド#55)

用 途

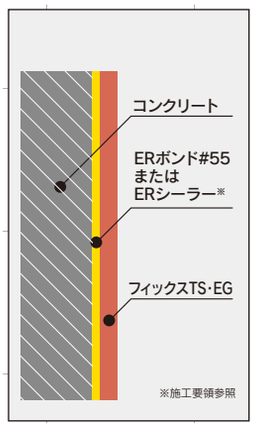
- コンクリート構造物の欠損部断面修復
- 壁・床面全面補修

配合及び材料使用量

●フィックスTS･EG

標準塗厚		5mm以上	
配 合		粉体	20kg
		水	2.6～3.1kg
材料使用量 塗り厚別 (kg/㎡)	5mm	9.00	
	10mm	18.00	
	20mm	36.00	
	30mm	54.00	
	40mm	72.00	
	50mm	90.00	
練上り量		11.11ℓ	
積算比重		1.800	
1㎡使用量		1,800kg (90袋)	

●施工図



● 荷 姿
・粉　体　20kg



●ERボンド#55［新旧打継用エポキシ系接着剤］

主　剤	水	硬 化 剤	㎡使用量	施工面積
15.0kg(5)	6.0～9.0kg(2～3)	3.0kg(1)	積算 0.15～0.2kg	90～120㎡
3.0kg(5)	1.2～1.8kg(2～3)	0.6kg(1)		18～24㎡
1.0kg(5)	0.4～0.6kg(2～3)	0.2kg(1)		6～8㎡

●ERシーラー［新旧打継用エマルジョンプライマー］

ERシーラー	水	㎡使用量	施工面積
18kg(1)	27kg(1.5)	水希釈液0.2kg (積算0.08kg)	225㎡
4kg(1)	6kg(1.5)		50㎡

○荷 姿
・18kgセット　・3.6kgセット　・1.2kgセット



○荷 姿 ・18kg缶・4kgポリ容器入り



EREWHON

施工要領

1.下地処理

脆弱部や付着物の除去、亀裂処理等断面修復材の性能が低下しないように充分な下地処理を行う。

2.プライマー塗布

下地とフィックスTS･EGとの接着を高めるため、ERボンド#55を塗布する。プライマーに指定のない場合で、コンクリートがはつり面の時はERシーラーをプライマーとすることもできる。
フィックスTS･EGの塗り継ぎ時も同様にプライマーを塗布する。

3.混練

規定量を計量し、ハンドミキサーやモルタルミキサーで混練する（低速ミキサー推奨）。撹拌時間の目安は1～2分程度※とする。材料が均一になったら過度の攪拌はしない。

※低速ミキサー使用、混練量1/2～1袋以上の場合。攪拌時間はミキサーの種類、回転数や混練量等により調整して下さい。

4.塗り付け

ERボンド#55の場合はタック（糸を引くような粘り）を生じた後に、ERシーラーの場合は指触乾燥した後に、フィックスTS･EGを塗り付ける。深い凹部がある場合は、先にその部分を充填する。薄く塗り付けた後に所定の厚みに塗り付ける（1層の厚みは最大20㎜）。モルタルの締り状態を確認し、適宜に金コテを用いて表面を平滑かつ緻密に仕上げる。

5.養生

雨水や直射日光を避けて1日以上養生する。

性　能

項　目	材　齢	試験結果	試験方法
圧縮強度 (N/mm²)	1日	19.1	JIS A 1171（ポリマーセメントモルタルの試験方法）温度20℃
	7日	41.4	
	28日	65.2	
曲げ強度 (N/mm²)	1日	4.0	JIS A 1171（ポリマーセメントモルタルの試験方法）温度20℃
	7日	8.2	
	28日	11.7	
接着強度※ (N/mm²)	7日	2.3	建研式　温度20℃
	28日	2.8	
硬化収縮率 (%)	28日	0.05	NEXCO断面修復材料（左官工法）硬化収縮性試験方法
熱膨張係数 (/℃)	28日	1.3×10^{-5}	NEXCO断面修復材料（左官工法）熱膨張性試験方法
静弾性係数 (KN/mm²)	28日	24.7	JIS A 1149（コンクリートの静弾性係数試験方法）
透水量 (g)	28日	1.2	JIS A 1404（建築用セメント防水材試験方法）水圧及び時間：0.3MPa×1時間
磨耗量 (g)	28日	1.2	JIS K 7204（磨耗輪による磨耗試験方法）輪荷重：1kg　磨耗輪：H-22　1000回転
表面水分量 (%)	1日	7.5	高周波容量式水分計 塗り厚20mm：温度20℃
	3日	4.1	

※ ERボンド#55使用
注)上記は当社実験室で試験を行った結果であり、品質保証値ではありません。

■ 使用上の注意

- ご使用に際してはSDS（安全データシート）をよく読んで下さい。SDSの入手は購入先にご依頼下さい。
- 製品は直射日光、湿気を避け5～35℃で保管して下さい。
- 防錆仕様の場合は、1袋につき400gのアルカード（亜硝酸リチウム水溶液）を配合して下さい。
- 低温時、施工、養生中に5℃以下が考えられる場合は凍害防止のため採暖を行って下さい。
- 高温時、練上がり温度は35℃以下(望ましくは30℃以下)になるように冷水等で調整して下さい。
- 長時間の直射日光が当たる場合や強風の場合はシート養生を行って下さい。
- 混練に高速ミキサーを使用した場合は、エアの巻き込みにより強度が低下することがあります。
- 攪拌が不足すると、再乳化しない粉末樹脂が多くなり、性能が低下します。粉末樹脂が再乳化するには20～30秒程度かかりますので、少量の混練においても1分以上（低速ミキサーの場合）攪拌して下さい。粉末樹脂が再乳化すると水を投入しなくても再乳化前より材料が軟らかくなります。
- 混練にアルミ製の羽根は使用しないで下さい。
- 練り水は水道水水質と同等のものを使用してください。不純物が硬化時間等に影響することがあります。
- 一度練った材料の練り返しはしないで下さい。
- 開封した製品は、即日中に使い切るか、余った場合は、ビニール袋等に密封し、開封後一週間以内に使用して下さい(性能低下の恐れがあります)。
- NEXCO断面修復材(左官工法)品質規格試験は、ERボンド＃55をプライマーとして行っています。
- NEXCO断面修復材（吹付工法）品質規格試験（試験法432）は行っておりません。
- 廃棄する場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して下さい。

●本資料について

- 本資料の技術情報は、当社の試験･研究に基づいたもので、信頼しうる情報と考えられます。
  しかし、記載の諸性能および特性などは、施工条件などにより本資料と異なる結果を生じることがあります。
- 本資料の記載事項は、予告なしに変更する場合がありますので、予めご了承下さい。

代理店

特殊セメントの分野を大きくリードする
エレホン･化成工業株式会社
EREWHON
https://erewhon.co.jp

●本社・工場	〒870-0141	大分県大分市三川新町1－2－23	TEL (097) 552-2251	FAX (097) 552-2213
●いわき工場	〒979-3112	福島県いわき市小川町上平字中平30－3	TEL (0246) 83-2600	FAX (0246) 83-2677
●大阪支店	〒532-0003	大阪府大阪市淀川区宮原5－1－3	TEL (06) 6842-7500	FAX (06) 6842-7544
●福岡支店	〒814-0151	福岡県福岡市城南区堤1－9－10	TEL (092) 874-6990	FAX (092) 862-6398
●関東支店	〒224-0003	神奈川県横浜市都筑区中川中央2-5-13-3F	TEL (045) 534-9656	FAX (045) 534-9657
●仙台支店	〒984-0012	宮城県仙台市若林区六丁の目中町6－2	TEL (022) 287-7221	FAX (022) 287-7222
●名古屋支店	〒463-0048	愛知県名古屋市守山区小幡南3－5－21	TEL (052) 758-1889	FAX (052) 758-1890
●札幌営業所	〒007-0805	北海道札幌市東区東苗穂5条3－2－32	TEL (011) 786-6051	FAX (011) 786-6052
●新潟営業所	〒950-0963	新潟県新潟市中央区南出来島1－10－23	TEL (025) 280-9282	FAX (025) 283-6262
●静岡営業所	〒422-8058	静岡県静岡市駿河区中原743－1－1F	TEL (054) 270-9380	FAX (054) 270-9381
●北陸営業所	〒920-0027	石川県金沢市駅西新町2－11－25	TEL (076) 204-9417	FAX (076) 204-9418
●広島営業所	〒739-1731	広島県広島市安佐北区落合2－41－22	TEL (082) 841-2350	FAX (082) 841-2360
●熊本営業所	〒861-8045	熊本県熊本市東区小山2－14－47	TEL (096) 237-6557	FAX (096) 388-6227
●鹿児島営業所	〒890-0082	鹿児島県鹿児島市紫原1－51－25	TEL (099) 284-0533	FAX (099) 284-0535
●㈱エレホン・技研本社	〒781-0270	高知県高知市長浜5226－13	TEL (088) 805-2332	FAX (088) 841-2322
●㈱エレホン・技研松山営業所	〒791-8042	愛媛県松山市南吉田町1450－6	TEL (089) 974-8225	FAX (089) 974-8230